



集 集落支援通信33
地域におじゃまします。

今年度の活動について

今年度の地区支援事業は、集落支援員が大きく入れ替わり、新しく海士に来た支援員ばかりで活動スタートとなったため、地区住民の意見を聞いて地区を知ること目標の1つとして活動しています。集落支援員同士で相談し試行錯誤しながら、今年度もいくつかの地区活動に取り組みました。取り組みのうち、2つを紹介します。

①多井地区の盆踊り復活

数十年ぶりの多井地区盆踊りの開催に集落支援員も加わり、音頭や踊りの調査、練習のサポートを行いました。



▲ 2017年版知々井地区カレンダー

開催した反響として、当日帰郷していた方から喜びのお便りが届いたり、地区から今年も開催したいという声が出たりするなどがありました。

②知々井地区カレンダー制作

カレンダー制作を通して、地区内での関わりが増えること、地区活動が形に残ること、今後の活動の励みになることを目的として、2回目となるカレンダー制作のサポートを行いました。町内数か所で販売し、地区外の方や出郷者などの島外の方にも、知々井地区の風景を届けることができました。

来年度に向けて

来年度は、集落アンケートや、地区へ伺った際に聞いた声を大切にしなが、活動の幅を広げたいと考えています。

安全・安心な生活づくりの支援となるような新しい事業を提案できるようにアイデアをまとめたいです。今後もよろしくお願いたします。

あまマーレ感謝祭

あまマーレの一大イベント「あまマーレ感謝祭」を、2月12日(日)に行いました。前回同様、多世代交流が生まれるように工夫しました。今回特に力を入れたのが、小学生以下を対象としたワークショップです。今回は『子どもたちが遊べるスペースが少なかった』という意見が出ていたので、子どもたちが遊びに来やすいように、「スライム作り」・「アークセサリー作り」・「アートパネル作り」の3つのワークショップを企画しました。

ワークショップには約50人が参加し、子どもの多い感謝祭となりました。今後も多世代交流を目的としながら、子どもたちが気軽に遊びに来られる場所にしていきたいと思っています。



日々の集落支援員の活動を、インターネットで発信！
Facebookページ更新中！
www.facebook.com/ama14chiku

あまマーレのホームページができました！
貸切予約やイベント情報はこちらから
<http://ama-mare.com/>

大山スキー教室

自主性と

最後までやり遂げる力を育む



まずは転ぶ練習から

1月6日～8日の2泊3日の日程で、中学1年生を対象に、「大山スキー教室」を実施しました。これは、

①海士町では体験できないウインタースポーツの楽しさに触れる。

②公共施設でのマナーや集団生活のルールを学ぶ。

という2つのねらいのもと、昨年度より復活し実施しております。

今年度は8名の参加となりました。雪不足が心配されましたが、滞在中の3日間はいずれの日もリフトが運行し、充実した内容となりました。

ほとんどの生徒はスキーの経験がありませんでしたが、海士中学校の岡野先生のご指導で、初めてリフトに乗る時は不安や恐怖心があつた生徒たちも、滑っていくうちに徐々に慣れていきました。次第に、自分達からリフトに乗るようにもなり、難しいコースにも挑戦するようになりました。最終的には、参加したすべての生徒が滑れるようになり、生徒達も満足そうにしていました。



スキー指導の岡野先生



滑れるようになりました♪



施設での清掃の様子

宿泊は「大山青年の家」でした。研修施設であるため、食事や布団の整理など、自分でできることは自分で行います。また、他の団体も利用しているので、周囲に配慮しながらの生活となりました。

寒さの中、朝は6時半に起床し、風呂掃除、トイレ掃除を行った後、7時に朝食、8時には出発。夜は、17時半に夕食、20時半に入浴、22時に就寝。と決まった時間に決まった行動をとることとなりました。こういった、研修施設特有の流れに、集団生活に慣れていない生徒達は困惑しながらも、きまりを守り他の団体へ迷惑を掛けることなく過ごすことができました。

周囲の人のために行動するという経験を「大山青年の家」で身につけることができたのではないかと感じています。

終了後のアンケートでは、「楽しかった」という回答がほとんどでした。しかし、「宿泊場所を代えて欲しい」や、「自由時間を増やして欲しい」との意見もあり、こちらのねらいとの隔たりがあることも感じ、生徒達への事前の指導不足を反省しました。

今回の反省をふまえ、来年度以降も安全に十分留意し開催していきたいと思えます。(中央公民館)

